Rotary International District 2570

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

No.3 1st September 2011

## 『Smart Rotaryを探して』

～継続できるロータリークラブとは～

＋

『ガンバレ！日本のロータリークラブ』

国際ロータリー第2570地区
2011-2012年度ガバナー
立原雅夫

# 新世代奉仕（New Generations Service）月間に若者に、未来の夢を

2011−12年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー　立原　雅夫

新世代奉仕とは、多くの青年に将来に向かって「ロータリー活動の未来の夢を託す」ためのプログラムです。最近世界は、コンピューターや通信技術の発達など科学技術の大きな発展にともない大きく変化しています。新しいビジネスモデルの出現、生活スタンスの変化、社会的環境変更の対応など、世界はかなりのスピードで進んでいます。

この世界のトレンドに柔軟に対応し、さらに発展させ新時代に挑戦できるのは新世代の青年達です。
地域奉仕はもちろんのこと、得意とするネットワーキングを活用してのニュービジネスの創造や新しい国際奉仕の発見、eクラブの発展的活用による新しいロータリークラブの創出など、彼らはうらやましい位に限りない可能性を秘めています。そこでの多くの体験から養われる指導力は、世界のリーダーとして成長するでしょう。

すべてのクラブと地区は、基本的ニーズ（健康・人間の価値・教育・自己開発など）のプロジェクトを支援しましょう。

◆ 青少年プログラム
1）インターアクト
2）ローターアクト
3）青少年交換
4）RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

ロータリー財団では、世界の若者たちに「ロータリー平和フェローシップ」を推奨しています。

世界の紛争解決と平和に関する国際問題について、ロータリー平和センター（世界６ヶ所７大学）の修士課程において研究するための奨学金プログラムです。

将来には、「世界平和ノーベル賞」にノミネートされることを希望いたします。

## 新世代のための月間

新世代部門委員長　野口　健吉（東松山むさし）

この度、新世代部門委員長として西川年度に引き続きお世話になります野口と申します。会員の皆様方のご協力をいただきながら努めさせていただきますので宜しくお願い致します。

さて、昨年度より四大奉仕に新世代部門が加わり、五大奉仕になり今後指導者養成、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクト、世界平和、異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年及び若者に多くのプログラムを提供して参ります。

新世代を重視する現れだと思いますので当地区もＲＩ方針に基づき立原年度も活発に活動して参ります。

当地区の新世代部門には、アクト委員会（インターアクト、ローターアクト）青少年交換委員会、ライラ委員会が所属しており委員長を中心に活動して参ります。

又、今年の２月１１日には、第２７７０地区と共催で、全国から約８００名のロータリアン、ローターアクターの参加を頂き、全国ローターアクト研修会が大宮ソニックにて盛大に開催されました。会員皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

## 新世代の月間によせて

アクト委員長　武藤　典夫（志木）

ＲＩは「長期計画や未来夢計画」を発表し将来の方向、方針の対応を推進しています。

未来へ向けては色々な奉仕分野に共通していますが永い間の四大奉仕に新世代を加え五大奉仕に増設、若い次世代と称する年齢帯は１２才～３０才迄の年代と言ってＩＡＣは中学校にも設立でき、２才繰り上げ１２才からインターアクトクラブ入会可能とも言っております。

当地区の新世代部門ではアクト委員会の他に青少年交換、ＲＹＬＡと三つの委員会を総括し、それぞれの委員会やクラブの奉仕活動を支援しています。

ＩＡＣは１２才～１８才地区内大小１２クラブ１００会員、世界１２，０００クラブ２００，０００会員が国際親善や様々な社会奉仕に取り組んでいます。

ＲＡＣは１８才～３０才地区内３クラブ４０会員、全国３００クラブ３，３００会員が関係しています。

二つのアクトクラブは基本的に育成支援するロータリークラブが提唱して結成されており、地域の社会ニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて世界の人々やクラブ間友情、相互信頼関係を構築し大切な事を学んでおります。

この様にロータリーは若いインターアクトや青少年の多くの人達を育てる奉仕プロジェクトは次代の社会構成に大きく貢献してくれるものと期待するものです。
月間は勿論、年数回のアクター達の事業にまず参加し肩をたたき声をかけて支援協力を頂きたいと存じます。

## どうした青少年？

青少年交換委員長　宮原　克平（志木）

近頃、海外留学を希望する若者が著しく減少傾向にあります。我々当事者としても原因を掴みかねています。埼玉県でも知事から海外留学の補助金を出してまで若者を海外に送ろうと努力していますし、県教育委員会でも強力なバックアップ体制の元、ロータリーの青少年交換プログラムを応援して頂いております。

今年は相当数の応募者が集まるのではないかと内心期待しておりました。我々委員も手分けをして地区内の県立高校を訪問して協力依頼を行なってきましたが応募者はさっぱりいない状況です。今の若者たちに直接聞いてみると行きたいという子もいるのですが、情報がこの子達に届いていないのが現状です。これは我々委員会の戦略が間違っているのではないかと思い、来春から川越や熊谷辺りで青少年交換プログラムの説明会を開催して直接高校生に呼びかけてみようと考える毎日です。今年から各グループ毎にホストファミリーネットワークを立上げ、ホームスティの受入れをしやすいように環境を整えて行きたいと考えています。

## 育てよう! 未来のロータリアン

ライラ委員長　島田　敏郎（富士見）

ＲＹＬＡ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、１４歳～３０歳の若者を対象に、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーの理想と価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。

今年度も第６回目のライラデーを開催します。今回は、米山記念奨学生の皆さんにご協力を頂き、同世代の若者としての考えや体験談を聞かせて頂きます。また、インターアクト、ローターアクト、ローテックスを中心に若者たちによるディスカッションを行い自己啓発を導いて行きたいと思います。

ＲＹＬＡを成功させるには、各クラブの支援と関心が重要となりますので、ＲＹＬＡの実績にご理解を頂きご協力頂きますようよろしくお願い致します。

## 第１回
# 「米山記念奨学部門セミナー」を開催

米山記念奨学部門委員長　大澤　衞（和光）

立原ガバナー年度第１回セミナーを、去る７月10日（日）嵐山「国立女性会館」に98名のロータリアン・奨学生を招いて開催。13時から16時30分まで、立原ガバナーの点鐘、ご挨拶に続き、諮問委員梅沢パストガバナー、ご来賓の米山奨学会副理事長金子千侍パストガバナーより米山奨学会の事業活動のご説明をいただきました。

本会議では、前年度末当地区の一人当り平均寄付額15,154円のご協力を賜りましたが、寄付金総額が2,711万円と年度当初の目標に達成できませんでしたことを報告。

地区目標額3,500万円を目指すためには、会員数の減少もあり一人当り寄付額20,000円を要します。また、特別寄付者は全会員数の32％にとどまっております。

（財）ロータリー米山記念奨学会としては、年間800名の奨学生を支援するためには、14億５千万円の寄付金を必要といたします。これからも、奨学生への支援が継続できるように、クラブ会長・米山委員長さんを始め、全員のご協力とご支援をお願いいたしました。

恒例の「米山奨学生による自己紹介」の時間は流暢な日本語のスピーチに、参加者全員感心させられました。これを米山月間の各クラブ訪問卓話の参考にさせていただき、今年度も、月間に拘わらず地区役員・奨学生ともに卓話に伺いますので、ガバナー事務所宛てにご連絡を賜りますようお願い申しあげます。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## クラブ奉仕部門
# 「広報・記録委員会セミナー」報告

広報・記録委員長　内山　明夫（東松山むさし）

日時：2011年７月16日（土）13：00～16：30
会場：国立女性教育会館（比企郡嵐山町）
出席：53クラブ　110名（会長・広報委員・地区役員）

本年度のクラブ奉仕部門「広報・記録委員会セミナー」が７月16日（土）開催されました。

東日本大震災の犠牲者への黙祷、開会点鐘に続いて、立原雅夫ガバナーの挨拶があり、ロータリーとしての震災被災地復興支援への強い決意が述べられました。

第一部では、まず、加藤玄静研修リーダーより、ＲＩ・地区・各クラブにとって「会員増強とクラブ維持」の為に、広報がいかに重要なのかとの講演がありました。

次に山口 茂クラブ奉仕部門委員長より、セミナー趣旨説明があり、役割・位置付け・重要性が語られました。

続いて委員長の私が「ロータリーになぜ広報が必要か？」との演題でパワーポイントを使って講演を行い、広報活動＝会員増強活動であり、両者は車の両輪であるとの説明を行いました。又、広報活動の事例として昨年度「東松山むさしＲＣ」の一年間の奉仕活動ＤＶＤ（東松山ケーブルＴＶ）を放映し、マスコミやメディアに取り上げて頂くには、いかに地域や社会に受け入れられる奉仕活動が大切か！とのお話をさせて頂きました。

第二部は、まず、出席した53クラブが６つのグループに分かれて、それぞれ、昨年度の広報活動事例を発表、討議しました。その後、全体会に戻り、６グループの代表者が討議内容を３分間ずつ発表しました。各クラブがそれぞれ大変すばらしい奉仕活動と広報活動を実践していることがわかり、私自身も大変勉強になりました。

今回のセミナーが2570地区と各クラブの活動の一助になれば大変うれしい限りです。

又、セミナーの開催にあたり、ご指導、ご協力をいただきました地区役員の皆様と委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。

# 「社会奉仕部門セミナー」報告

社会奉仕部門委員長　田中　八束（狭山中央）

未曽有の天災後、4ケ月余りを経て、万一の計画停電に備え、狭山市智光山公園内施設(勤労福祉センター)に於いて、社会奉仕部門セミナーが開催されました。

ロータリーの本意とする社会奉仕に係る部門として、今年度は特別な企画を以てセミナーを開催しました。

第1部

各委員長　活動計画方針発表

①社会奉仕委員会　木藤文雄　委員長

2570地区内各ロータリークラブに於いて、関東東北大震災の支援継続推進を要請し、支援は継続的課題として、被災地の今後の支援について、2570地区の総意に則り協調支援を継続する。

ロータリークラブの社会奉仕活動が、マンネリズムに陥っているプログラムも散見されるので、常にフレッシュな社会奉仕プログラムを展開すべく、各々のロータリークラブの多様な社会奉仕プログラムをデータとして収集し、継続的に記録するデータベースを構築する。

②アイバンク担当　花家孝之　委員

光を失った人たちが、同じ空を見られる事を願い、角膜提供をアイバンクに登録するよう呼びかけを提唱、アイバンク登録者がいないクラブについて、特に登録を奨励。

③ブライダル委員会　醍醐冶江　委員長

委員会の活動報告、ブライダル委員会の仲人による縁談成立と、ロータリー子弟のブライダル委員会登録をお願いする。

④世界遺産登録推進委員会　新井啓介　委員長

従前より活動している、「さきたま古墳群」 世界遺産登録推進のキャンペーンを各クラブにキャラバンを行っておりますが、未訪問のクラブのキャラバン受け入れとサポーター登録をお願いする。

第2部

関東東北大震災における、被災地のロータリーの救援活動について、国際ロータリー第2520地区(宮城・岩手)パストガバナー　笹気光祚　様を講師に迎え、演題「ロータリーの救援活動」を講演していただきました。特にロータリーが手厚く後援している　世界組織シェルターボックス　から被災地に贈られたシェルターボックス(概ね１０人寝られるテント・グランドシート・毛布・煮炊きストーブ・什器・斧・鋸等が同梱)を行政に先立ち、燃料が枯渇し交通インフラの途絶している被災直後、あらゆる職種のエキスパートから成り立つロータリーならではの、底力を発揮して、きわめて迅速に1761個のシェルターボックスを被災地に届け、至って便利に活用され、特に要介護者・高齢者、幼児、プライバシーの必要な女性から喜ばれ、7月末まで居住したテントもたくさんありました。シェルターボックス団体から先遣隊は３月１３日にはイギリスから現地入りして、３月１５日から世界各地のデポから日本に到着、ロータリーの手により即刻、東北向けに発送されました。この受け入れに、ロータリー組織の極めて迅速な活動が地域社会で感謝されておりますが、報道されることのない、素晴らしい社会奉仕活動を知り得る貴重な講演会でありました。併せて、講演中、被災状況写真を投影し、講師により状況説明が行われ、想像を絶する、津波の猛威に改めて、耳目を広げる機会となりました。

社会奉仕委員会により、会場に義捐金ボックスが置かれ、国際ロータリー第2520地区(宮城・岩手)に2570地区から贈られた、義捐金と伴に、パストガバナー 笹気光祚様に手渡されました。

# 「第45回IAC年次大会」報告

アクト委員長　武藤　典夫（志木）

ＲＣ及びＩＡＣ関係の皆さん、直前の西川年度より新立原年度へ引き続きアクト委員会のお手伝いをする事になりましたので一年間宜しくお願い致します。

去る７月２４日（日）ＩＡＣ・ＲＣ関係者が集まり上記年次大会が星野高校にて開催されました。プログラムの骨子内容は開会セレモニー、開催目的や内容の説明、そして基調講演と交流会、総括、閉会セレモニーの五次第でした。講演は大震災を踏まえ「いま日本で出来る事」のテーマの中、体験上どんな事を感じたか、手を差し延べる奉仕行動は？復興へ向けどんなことが出来るでしょう。に会場全員の皆さんが聞き入りました。

国際理解、社会奉仕をターゲットとするＩＡＣの存在意義を考慮しつつ、どんな行動を、と先生の話に暫し一緒に耳を傾けたところです。

参会した関係者は主催者のガバナーを初めとし２５７０地区新世代関係委員並びにアクト委員会メンバーとロータリアン等で３０名でした。

ＩＡ関係者は星野高校ＩＡＣ初め１０校のアクターの皆さん、校長会先生方を含め大勢の参加となりました。

ロータリーでは社会やロータリアンの次の担い手として若い人達（ＩＡ）等に熱い期待と幸せな世の中へその夢を託そうと考えています。ガバナー方針のひとつにも若い青少年達の奉仕事業や将来の準備活動には積極的に支援し育てて行く事で、私達の奉仕理念を次の社会構成に貢献して頂くものと信じていると語っています。

未来の理想の奉仕へロータリーと、その期待されるインターアクトの皆さんは今大会の内容を胸の内に体験し一緒に進んでいく事と存じます。

## 朝霞
## ロータリークラブ

７月１９日、立原雅夫ガバナーをお迎えしガバナー公式訪問が行われました。11時より立原雅夫ガバナー、坂本元彦ガバナー補佐同席のもと会長、幹事、入会３年未満の会員２名が参加しての懇談会が行われ、立原ガバナーよりクラブの独自性を有する活動項目に称賛のお言葉を頂きながら和やかに懇談が終了致しました。

12時30分の点鍾により例会が開会され、13時よりガバナーの卓話を頂きました。ＲＩ会長が提唱するテーマの強調事項「家族」「継続」「変化」を基調に、ガバナーのお考え、方針を拝聴いたしました。又、大震災後の今こそ「超我の奉仕」を掲げて勇気と友情をもって行動を起こすことで、理念を共有する新しい仲間をこの輪に参加していただくことが会員増強に繋がると力強いお言葉を頂きました。

例会終了後クラブ協議会を開催し、事業計画が発表されました。立原ガバナーより貴重なアドバイスや意見等、各委員会の活動に高い評価をいただきました。

## ふじみ野
## ロータリークラブ

早秋の候、ロータリアンの皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
ふじみ野ロータリークラブでは、新年度がスタートしたばかりの初例会に補佐訪問に引き続き、去る、７月２０日「ガバナー公式訪問」を迎えました。

新会長の私も心の準備もままならない状況にありささか緊張して当日を迎えましたが、立原ガバナーの暖かい配慮により、事前審査も終わりホッとしました。その後に、
通常例会での挨拶をいただきガバナーの人柄を改めて感じた次第です。特にふじみ野ロータリーの親クラブであり、古くからメンバーとの親交もあり和やかなうちに例会が終了し協議会に進みました。この中では各委員長から本年度の目標などの発表があり、適切なご指導とご助言をいただきました。

当クラブは、１９６９年創立、歴史と伝統を有するクラブですが時代の変遷と共に会員数が減少し、５０名余りだった会員数も遂に１６名になってしまいました。近年の減少傾向に歯止めがかからず「底打ち状態」と理解していますが、会員の増強にはここ数年歴代の会長が躍起になって努力していますが結果に繋がりません。今年こそ２．３名の会員の獲得に頑張っていきたいと考えています。このことについてもガバナーからご意見等をいただき本年度の目標達成に大いなる期待をいただきました。

また、本年度の事業で既に恒例になっています「武道大会」の開催についてもご報告をさせていただきました。前年度は、あの痛ましい３月１１日の「東日本大震災」の関係で中止しましたが、今年は実施し「東北地方の復興を願う」記念大会にしたいと考えています。

結びに、立原ガバナーをはじめとする各クラブの益々のご発展とご健勝をお祈りしてふじみ野ロータリークラブ会長としての挨拶、報告とさせていただきます。

## 入間
## ロータリークラブ

７月の第一例会に石川山治雑誌委員長（年齢89歳）がロータリーの友の記事を紹介した中に「ガバナーの横顔」がありました。川越ＲＣ、川越の町、川越市での役職、川越ＲＣでの活躍、趣味、ご家族の紹介が分かり易く、これをそのまま会員へのガバナー紹介としました。また、写真は御夫妻と２人のお嬢様という親子の構成で同じ構成は他に１枚しかなく、とてもリラックスしたものでした。ガバナーが半身という撮り方でプロの写真家の作品と勘違いしました。

ガバナーの卓話はＲＩ会長の方針、ガバナーの方針、ロータリーの長期計画等分かり易く話してくれました。その後集合写真を撮り第2回目のクラブ協議会に入りました。90分の予定ですが、ガバナー講評を随所に入れていただき各委員長との会話も弾みました。途中15分ほど休憩を入れ其の時ロータリー美術館齋藤金作委員長より展示美術品の説明も行いました。15時終了予定を30分程過ぎ終了となりました。ガバナー公式訪問ありがとうございました。

## 志木
## ロータリークラブ

去る７月２７日、クラブにとってもっとも大切な行事のひとつであるガバナーの公式訪問がありました。立原ガバナーには当クラブにとっての１年間の道標をつけて頂き、大変感謝しております。特に印象的だったのは、「世界中のロータリーが今大きく変わろうとしている。その時代に合った活動をしていかなければならない」という内容のお話を頂き、まさに改めて「ロータリーって何ですか」と問いかけられた気がいたしました。
クラブにとって充実した年になるよう、会員一同団結してまいりたいと思います。
今後ともご指導の程宜しくお願いいたします。

## 東松山・小川
## 東松山むさし
## ロータリークラブ

７月２８日、東松山市「紫雲閣」において３クラブ合同ガバナー公式訪問例会が、６０名の会員参加により盛会裏に開催されました。
午後３時、立原ガバナー・馬場ガバナー補佐・坂口地区副幹事を迎賓し、先ず３クラブ会長・幹事との懇談では、次第の確認と各クラブの状況について意見交換が行われました。午後４時、例会開会点鐘、国歌・ロータリーソング・四つのテスト斉唱に続き、幹事クラブ東松山むさしRC会長が挨拶、次いで東松山RC中嶋会長・小川RC松矢会長から夫々報告がありました。特に小川ＲＣでは創立４５周年記念事業報告と村田幹昌様の入会式が行われ、立原ガバナーから直接バッジ・記念品が手渡されました。次に、立原ガバナーによる卓話では主に「ＲＩの報告」を中心に語って戴きました。第２部クラブ協議会では各部門長が発表、立原ガバナー・馬場ガバナー補佐から講評と助言を戴きました。その後懇親会では森田東松山市長も加わり和気藹々の内に時が過ぎ、最後に全員で「手に手つないで」を合唱し散会致しました。

## 熊谷
## ロータリークラブ

「熊谷うちわ祭り」が終わり、連日うだる様な熊谷の暑さの７月２９日、立原雅夫ガバナー、鈴木秀憲第５グループガバナー補佐、片山幸雄地区副幹事を迎えての公式訪問例会を開催致しました。特に本例会では３名の入会式を執り行わせて頂きました。新入会員にとって、立原ガバナーによるＲＣバッジの着用には、これからのロータリーライフに、大いな記念となったことでしょうし、クラブとしても心強い会員増強となりました。

本年度、立原ガバナーが提唱する「明るく・楽しく・美しいロータリーライフ」の実現に向けて、熊谷クラブライフとしても、楽しさとゆとりをつくるロータリーライフの実現に向けて活動してまいります。
熊谷ＲＣでは次年度創立６０周年を迎え、良き伝統と有意義な活動を「経歴計新の精神」のもと継承してまいります。

会場を移動しての集合写真では公園の木々からの木洩れびの中、眩しい太陽の日差しと清々しい涼風により思い出深い公式訪問となりました。

# 所沢
## ロータリークラブ

８月２日（火）所沢市　セレスにて立原ガバナー、井花ガバナー補佐、山口地区副幹事を迎えて、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。午前１１時より会長幹事との懇談会を行いました。書き損じ葉書の回収事業　又、台湾吉安ロータリークラブとの友好親善等話し合いました。そして、例会では講和を頂き、RI 会長の方針であります、「家族、継続、変化」と地区での継続できるロータリークラブとして、新時代の変化に対応できる新プログラムの推進、そして「明るく、楽しく、美しく」を心情にロータリー活動を行いたいとの、お話を頂きました。クラブ協議会では、各委員会の活動計画に適切な指導を頂き、これからの委員会活動に役立つところです。立原ガバナー、井花ガバナー補佐長時間にわたり、本当にありがとうございました。

# 飯能
## ロータリークラブ

飯能ロータリークラブ（吉島一良会長）は8月3日、マロウドイン飯能で第2450例会を開催。同地区の立原雅夫ガバナーの公式訪問が行われ、会員ら51名が出席のもと、立原ガバナーが、RCとして様々な奉仕を行っていく展望などについて、卓話を行った。

卓話では、国際ロータリーは「家族」「継続」「変化」の３つを強調事項に奉仕に力を注いでいることなどを話し、「ロータリーを通じて世界がもっと良くなるよう、活動していかなければ」とした。

国際ロータリーが「長期計画」（戦略的計画）、ロータリー財団が「未来の夢計画」を掲げていることなどを紹介。「世界の変化に対応できる、賢いロータリーを目指す」。

また、東日本大震災で、東北地方の20以上のRCが深刻な被害を受けたが、「これまで地域や世界に発信してきた“奉仕”のノウハウを、最善の救援のために発揮する」とした。日本ロータリーは義援金を募るとともに、「震災孤児の支援」「5 for 1 RC」を方針に支援を行うことなども紹介。「“世界で何ができるか”を考えてきたが、同時に日本の状況も踏まえ、変化する時代に対応しながらあらゆる奉仕を展開していく」と、締め括った。

その後、懇親会を開催し和やかなうちに終了した。

# 坂戸・坂戸さつき
## ロータリークラブ

８月４日（木）、立原ガバナーをお招きし、坂戸ロータリークラブと坂戸さつきロータリークラブ合同のガバナー公式訪問例会が開催された。午前中の懇談会に引き続き、１２時３０分定刻通り点鐘が行われ、立原ガバナー公式訪問例会が開会された。卓話において、立原ガバナーにはＲＩ方針を説明の後、地区のテーマである「スマート（賢い）ロータリー」について説明をいただいた。特にこれから１００年の戦略的計画、研修リーダーの育成、世界平和に貢献できる新世代育成の重要性について熱弁をふるわれた。また、ロータリーの公共イメージ戦略が会員拡大につながるとのお話しは、会員減少に悩んでいる両クラブにとって非常に参考となった。また、大震災に関連して「最も有効な義援金の使い方」についてロータリーは苦悩しながら答えを探っている旨の説明をいただいた。両クラブとも、今後の活動に大いに参考になる内容であったと感謝いたしております。





# 秩父音頭まつり審査員特別賞受賞

８月14日秩父郡皆野町において、「秩父音頭祭り」が、開催され、米山記念奨学生及び学友26名、ロータリアン19名が参加。家元であられます、金子千侍パストガバナーの道場で猛練習の後「浴衣」に着替えて、ロータリークラブ米山記念奨学生名入りの提灯、ロータリー旗、米山奨学会旗を先頭に皆野町での流し踊りコンクールに参加。道中３箇所の審査員会場を経てお祭り広場の櫓を一廻り。

奨学生も「日本の文化」に触れた喜びを感謝の心とともに、懸命に秩父音頭を披露し「審査員特別賞」を受賞した。

学生たちは、アジアは一つという思いを抱いて日本で学んでいます。その思いを共有し、東北支援の輪をもさらに広げていく。我々ロータリアンもアジアの学生にも日本人の誇りと文化をしっかりと伝えて行き、母国と日本の懸け橋となられることを希望している。今後とも当地区会員皆様方のご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。「NHK ONLINE」「クオリテイ埼玉」で配信中。

## 表彰

メジャードナー
米山功労者（14回目）

**宮前 英雄**（皆野・長瀞）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**佐久間 睦夫**（所沢西）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**新井 景三**（飯能）

ポール・ハリス・フェロー

**栗原 和明**（所沢西）

ポール・ハリス・フェロー

**鈴木 利恵子**（川本）

米山功労者（9回目）

**大澤 衞**（和光）

米山功労者（2回目）

**永田 博太郎**（川本）

米山功労法人

**㈱日東テクノブレーン**
**鈴木 真澄**（所沢西）

米山功労法人

**㈲大進産業**
**大館 信夫**（所沢西）

## 新入会員のご紹介

**村田 幹昌**
クラブ名：小川ＲＣ
入会年月日：2011年7月28日
勤 務 先：村田社会保険労務士事務所
役　　職：所長

**小川 次弘**
クラブ名：坂戸さつきＲＣ
入会年月日：2011年8月10日
勤 務 先：若葉駅前メンタルクリニック
役　　職：院長

**上野 剛彦**
クラブ名：志木ＲＣ
入会年月日：2011年7月27日
勤 務 先：上野税理士事務所
役　　職：所長

**渡辺 達治**
クラブ名：深谷ＲＣ
入会年月日：2011年7月2日
勤 務 先：正智深谷高等学校
役　　職：校長

**飯塚 章治**
クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年7月1日
勤 務 先：㈲ ITS
役　　職：代表

**斉藤 一英**
クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年7月1日
勤 務 先：㈱ セイワ
役　　職：代表取締役社長

**長崎 隆司**
クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年7月1日
勤 務 先：㈲ 味どうらく長
役　　職：代表

**福島 正美**
クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年7月1日
勤 務 先：福島工業 ㈱
役　　職：代表取締役社長

**高橋 佑介**
クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年7月21日
勤 務 先：高橋商事
役　　職：代表取締役社長

**秋山 恵一**
クラブ名：熊谷ＲＣ
入会年月日：2011年7月29日
勤 務 先：㈱ 秋山テント商会
役　　職：代表取締役

**野澤 久夫**
クラブ名：熊谷ＲＣ
入会年月日：2011年7月29日
勤 務 先：㈱ 野沢銘木店
役　　職：代表取締役

**馬場 俊久**
クラブ名：熊谷ＲＣ
入会年月日：2011年7月29日
勤 務 先：ビーエム観光 ㈱
役　　職：代表取締役

**中村 卓雄**
クラブ名：加須ＲＣ
入会年月日：2011年8月3日
勤 務 先：日本特絹工業 ㈱
役　　職：代表取締役

**藤倉 武**
クラブ名：行田さくらＲＣ
入会年月日：2011年8月9日
勤 務 先：㈱ 協同バス
役　　職：代表取締役

**島﨑 勝美**
クラブ名：熊谷東ＲＣ
入会年月日：2011年7月6日
勤 務 先：㈱ プラスワン
役　　職：代表取締役

**向井 好**
クラブ名：熊谷東ＲＣ
入会年月日：2011年7月6日
勤 務 先：㈲ サイシンハウジング
役　　職：取締役

**諸　信行**
クラブ名：熊谷籠原ＲＣ
入会年月日：2011年8月3日
勤 務 先：㈲ 熊谷福祉支援推進事務所
役　　職：代表取締役

**お詫びと訂正**

●先月号の表彰の中で秩父RCの星野進さんをアーチ・クランフ・ソサエティと紹介いたしましたが、メジャードナーです。
●先月号の新入会員のご紹介で長島康雄さんのクラブ名が所沢中央RCと表記されていますが正しくは行田RCです。
お詫びして訂正申し上げます。

# 埼玉県上田知事表敬訪問

地区幹事　**小谷野和博**（川越）

去る６月２１日（火）立原ガバナーと地区幹事は上田知事表敬訪問のため、県庁をたずねました。広々とした知事室の西川材で造られたテーブルとイスに座り、談笑のひと時を過ごすとともに、一年間のガバナー職としてのご挨拶と、地区大会へのご来臨をお願いしてまいりました。お隣の地区第２７７０地区のガバナー、地区幹事も同席されました。

## 小・江戸歴史探訪 その３

### 川越まつり（下）

先月号では、小江戸川越最大の行事である「川越祭り（川越氷川祭礼）」の発祥の際に想定された祭礼の効果について触れさせていただきました。今号では、現代に繋がる祭りの歴史について記させていただきます。

写真１ 川越氷川祭礼絵馬　江戸後期の山車の型式が伺える貴重な資料

◇山車の変遷

文政９年（1826）の川越氷川祭礼絵巻には、氏子町内が氷川神社の神幸祭に随行する形で、列を定めて一本柱の笠鉾やかき山型式の山車や踊り屋台、仮装行列などを仕立てて進むさまが見てとれます。

天保15年（1844）には氏子十ヶ町すべての山車が一本柱型式、勾欄の上に人形を乗せる形に統一されています（写真１）。

文久２年（1862）、現在の山車とほぼ同じ二重鉾形式の江戸型山車が登場します。明治に入ると各町が競うように江戸型山車を新調し、川越の山車はいよいよ絢爛豪華になっていきます。現在の「川越祭り」の形が整っていきました。

◇川越祭りの現在

平成17年、江戸の天下祭の様式や風流を伝える貴重な都市型祭礼として「川越氷川祭の山車行事」が国指定重要無形民俗文化財の指定を受けました。

川越祭りは今も、老若男女問わず川越っ子の血をたぎらせ、さらには遠方から集う多くの観光客の熱気も相まって、年々いよいよ盛んになっています。郷土に生きた先祖から引き継いだ祭りや伝統を絶やすことなく、変えることなく、これから生まれ来る子どもたちに確かに伝えていくことこそ、現代を生きる私たちの、真の安心につながることかもしれません。

（山田禎久　地区副幹事（月信担当）／ 川越氷川神社宮司）

## ９月･10月のスケジュール

| 9月 | | |
|---|---|---|
| 1 | 木 | 公式訪問－本庄ＲＣ |
| 3 | 土 | Ｒ財団第１回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ（ｵﾙﾓ）<br>第3ｸﾞﾙｰﾌﾟﾌﾚｯｼｭﾏﾝ研修ｾﾐﾅｰ事前打合せ（狭山勤労ｾﾝﾀｰ） |
| 4 | 日 | 新世代部門ｾﾐﾅｰ（国立女性教育会館） |
| 5 | 月 | 公式訪問－新狭山ＲＣ |
| 6 | 火 | 公式訪問－羽生ＲＣ |
| 7 | 水 | 公式訪問－寄居ＲＣ |
| 8 | 木 | 公式訪問－新座ＲＣ |
| 10 | 土 | 第１回Ｒ財団部門ｾﾐﾅｰ（国立女性教育会館）<br>米山研修旅行（米山記念館） |
| 11 | 日 | ↓ |
| 12 | 月 | 公式訪問－朝霞ｷｬﾛｯﾄＲＣ |
| 13 | 火 | 公式訪問－越生毛呂ＲＣ<br>公式訪問－新所沢ＲＣ |
| 16 | 金 | 公式訪問－狭山ＲＣ |
| 17 | 土 | 第１ｿﾞｰﾝﾛｰﾀﾘｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（塩釜）<br>ｸﾗﾌﾞ研修ﾘｰﾀﾞｰｾﾐﾅｰ（紫雲閣） |
| 20 | 火 | 地区大会・記念ｺﾞﾙﾌ大会（霞ヶ関ｶﾝﾂﾘｰ倶楽部） |
| 21 | 水 | 公式訪問－加須ＲＣ |
| 24 | 土 | 青少年交換委員会＞第２回ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ |
| 26 | 月 | 公式訪問－本庄南ＲＣ |
| 27 | 火 | 公式訪問－行田さくらＲＣ |
| 28 | 水 | 公式訪問－岡部ＲＣ |
| 29 | 木 | 公式訪問－皆野・長瀞ＲＣ |

| 10月 | | |
|---|---|---|
| 2 | 日 | ｲﾝﾀｰｱｸﾄ合同奉仕活動<br>青少年交換委員会＞派遣生第２次選考試験（女性会館） |
| 3 | 月 | 公式訪問－所沢中央 |
| 4 | 火 | 公式訪問－児玉 |
| 5 | 水 | 公式訪問－熊谷南 |
| 6 | 木 | 公式訪問－行田 |
| 7 | 金 | 公式訪問－富士見 |
| 8 | 土 | 第3ｸﾞﾙｰﾌﾟﾌﾚｯｼｭﾏﾝ研修ｾﾐﾅｰ（狭山勤労福祉ｾﾝﾀｰ） |
| 10 | 月 | 行田ＲＣ45周年（行田市商工ｾﾝﾀｰ） |
| 11 | 火 | 公式訪問－日高 |
| 12 | 水 | 公式訪問－川越西 |
| 13 | 木 | 公式訪問－志木柳瀬川 |
| 14 | 金 | 公式訪問－川越小江戸 |
| 15 | 土 | 第２回会員増強セミナー<br>Ｒ財団補助金奨学＞国際親善募集要項検討会議 |
| 17 | 月 | 公式訪問－深谷ノース |
| 18 | 火 | 公式訪問－吹上 |
| 19 | 木 | 公式訪問－新座こぶし |
| 21 | 金 | 公式訪問－深谷東 |
| 25 | 火 | 公式訪問－狭山中央 |
| 26 | 水 | 公式訪問－鶴ヶ島 |
| 27 | 木 | 公式訪問－所沢東 |
| 30 | 日 | 第２回米山記念奨学部門ｾﾐﾅｰ（国立女性教育会館） |

## 文庫通信（287号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集･整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会の講演から

◎「よい生き方ができる組織の増強を / 地域社会と世界平和のために『挑戦』を」田中作次 ……〔2011〕 2P
（D.2580/D.2770）
◎「RI 理事会報告・財務見通し５ヵ年計画」…… 黒田正宏 ……〔2011〕 3P
（第 39 回ロータリー研究会報告書）
◎「国際ロータリーの現状とこれからのロータリー」…… 小沢一彦 ……〔2011〕 3P
（D.2560）
◎「新しい長期計画とクラブの活性化」…… 南園義一 ……〔2011〕 5P
（D.2780）
◎「職業奉仕の原点」…… 深川純一 ……〔2011〕 3P
（D.2580）
◎「地域を育み、大陸をつなぐ」の実践－国際奉仕への取り組み（シンポジウム）」… 塚原房樹 ……〔2011〕 14P
（D.2510）
◎「元米山奨学生として」…… 徐　重仁 ……〔2011〕 2P
（D.2780）
◎「中国人から見た日本の現状…… 張　旭梅 ……〔2010〕 7P
（D.2800）

［申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

### ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506　　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土･日･祝祭日

## ロータリー川柳募集

テーマ「**ロータリーとは**」

なぞなぞ的出題ですが、あなたのロータリーライフで思ったこと、面白いことなど自由に作句して下さい。
たのしい作品をお待ちしています。
１回の投稿は３句まで。

## 表紙の絵の紹介

**～ガバナー月信９月号表紙～**

**「喜多院慈眼堂の秋」**

川越の喜多院は、正月３日のダルマ市（初大師）や五百羅漢などで知られる古刹で、平安時代の創建とされています。江戸城より移築された家光公誕生の間や春日局化粧の間など多くの文化財や史跡があります。
自宅が近い事もあって、春の桜、秋の紅葉など子供の頃からたびたび訪れては境内の四季を楽しんでいます。絵に描いた慈眼堂は、家康公の厚い信頼を得ていた天海僧正（慈眼大師）が祀られており、晩秋の頃の風景です。

橋本定寛（川越 RC）

国際ロータリー第2570地区　2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

ガバナー事務所　〒350-1123　埼玉県川越市脇田本町11-27-2F
TEL 049-293-6522　E-mail: info2011@mail.rid2570.gr.jp
FAX 049-293-6523　URL: http://www.rid2570.gr.jp/2011/